

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ケアセンターれもん		公表日	令和7年 3月 3日
	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	十分なスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	館内外は車いす対応の構造になっている。またクールダウンできるスペースなどもある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	毎日館内の清掃をおこなっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	クールダウンできるスペースなどがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		業務改善には協力してもらえているが、PDCAサイクルに広く参画してもらえているとは言えない。改善したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		業務改善につなげていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		業務改善につなげていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	外部評価を元に、次年度の職員研修の内容を検討し直した。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	職員からの要望などに応じて研修内容を変更している。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	法人のホームページ上に公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	今後も心掛けていきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	計画作成時のケース会議には全職員が参加し、検討をおこなっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	計画作成時のケース会議には全職員が参加するため、共有もなされている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントについては十分ではない。活用をおこなってほしい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	今後も心掛けていきたい。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	マンツーマン支援のため、必要に応じて利用児担当職員と支援職員で立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	利用児の気持ちに沿いながら臨機応変に変更している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	現在、一日の利用人数が最大2名のため集団活動はおこなえていないが、職員が複数参加して集団活動をおこなったりしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	マンツーマン支援のため、必要に応じて利用児担当職員と支援職員で立案している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	翌朝の朝礼時などに当日の状況の報告などをおこない、次回の支援に生かしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	支援記録は利用する度に残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	毎月振り返りをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		「地域交流の活動」は組み合わせるのが困難であったが、他の3つの基本活動は組み合わせながら支援をおこなえた。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	本人とその日の活動について相談し自己決定してもらうなどの支援をおこなっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	現在、利用児のサービス担当者会議などは開催されていない。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		家庭、学校、施設の間は連携できているが、他の地域の関係機関との連携は十分ではない。改善したい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	学校への迎え時に学校教諭とその日の状況などを引継ぎしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	利用児が中学生であるため、現在は情報共有はおこなっていない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	過去に移行した際には保護者同意のもとで情報提供をおこなった。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		連携は十分に図れてはいない。改善したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		近隣に児童クラブや児童館などがなく、地域の他の子どもと交流する機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	法人の他事業所から参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	お迎え時に当日の状況をお伝えしたり、普段の過ごし方などをお聞きしたりすることで、ニーズを汲み取ろうと努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		外部のイベントや研修の案内を積極的におこない、ケアセンターれもん以外でも保護者と交流できる機会を提案していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		保護者の方は十分ではないと感じられているようである。改善したい。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	作成時には支援時の利用児との会話や引継ぎ時の保護者との会話、支援計画振り返り時の話を参考にしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	保護者に説明し、ご了承の上署名いただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	お迎え時に当日の状況をお伝えしたり、普段の過ごし方などをお聞きしたりすることで、ニーズを汲み取ろうと努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		ケアセンターれもん内の行事だけでなく、外部のイベントや研修の案内を積極的におこない、ケアセンターれもん以外でも保護者と交流できる機会を提案していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	以前苦情をいただいた際には速やかに原因を追究、対応策を講じ、保護者へ謝罪とともに説明をおこなった。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		HPやSNSでの発信はおこなっていないが、お迎え時にその日の様子をお伝えしたり必要事項の文書を配布したりしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	以前苦情をいただいたこともあり、個人情報の取り扱いについて注意を払いながらおこなっている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	現在の利用児には必要がなく使用していないが、必要に応じて絵カードでの意思疎通などの配慮をおこなえる用意がある。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		夏期交流行事などで地域の団体をイベントのゲストとして招き、地域との交流をおこなうようにしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	感染症対応マニュアルに基づいた研修・訓練を定期的におこなっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	BCPを策定し、毎月避難訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	アセスメント時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	現在食事やおやつを提供をおこなっていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	職員から提出されるヒヤリハット報告書に基づき環境整備や支援方法の統一をおこない、安全管理に努めている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		十分ではない。改善したい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	提出されたヒヤリハット報告書を分析し、定期的にリスクマネジメント会議を開催し共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	年に1回以上、虐待防止・権利擁護、職員のメンタルヘルスに関する研修をおこなっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	現在身体拘束が想定される利用児はいない。	